

## 新河岸駅周辺整備事業における説明公聴会 Q & A

平成25年7月28日

※主な質疑内容をまとめました。

**Q. 土地区画整理事業に代わる新しいまちづくり整備の全体計画はいつまでか。**

A. 地域の実情にあったまちづくりへ転換するものとして、概ね20年で終わる方針を示しています。

**Q. 骨格道路の整備スケジュールは。**

A. 第1期整備分（東西駅前通り線・寺尾大仙波線の一部）全体のスケジュールは、平成28年度末の開通を目標に進めています。

**Q. 都市計画が告示されるとどのような手続きが必要になるか。**

A. 本日まで説明した各内容が都市計画として定まることから、それ以降の建築等の際には事前に地区計画の届出（審査）が必要となるなど、各都市計画に適合した土地活用が求められます。

**Q. 新河岸駅北通り線の整備スケジュールは。（いつの時期に交渉が始まるのか）**

A. 東西駅前通り線等の第1期整備分完了後に整備に向けた測量作業やお話合いがスタートします。整備手法は、用地買収方式です。寺尾大仙波線第2期分につきましても同様です。

**Q. 橋上駅舎化については。**

A. 東西連絡自由通路整備に合わせた橋上駅舎化について、現在、東武鉄道と協議中です。

**Q. 生活道路（現道）はどのように整備するのか。**

A. 現在ある道路の活用については、既に小学校北側等の道路改良を行いました。通学路を中心に計画的に側溝等の雨水排水対策を行い、歩きやすい道路に改良します。

また、隅切りの必要な個所についても関係者に提案をしたいと考えています。

**Q. 一灯式信号の交差点など、危険な交差点があるが改善出来ないのか。**

A. 暫定整備を含めて道路等の交通安全対策につきましては、警察等の関係部署と協議を行い進めていきます。